

# 計 装

コミュニケーション

第53号  
2023年8月



計装士会発行

---

---

# 目次

---

---

## 第26回通常総会

### 通常総会

次第	1
令和4年度 事業報告	2
令和4年度 収支決算書	3
令和5年度 事業計画並びに収支予算（案）	4
代表挨拶	5

### コラム

Enclosure	（ジョンソンコントロールズ株式会社 井村 雅英）	7
企業紹介・PRコーナー		11
安全標語		13
計装士会 会報52号の掲載内容誤表記について		14
賛助会名簿		15
幹事名簿		16
入会資格と入会・退会手続きについて		17
計装士会ホームページのお知らせ		18
投稿募集		19

## 第26回通常総会

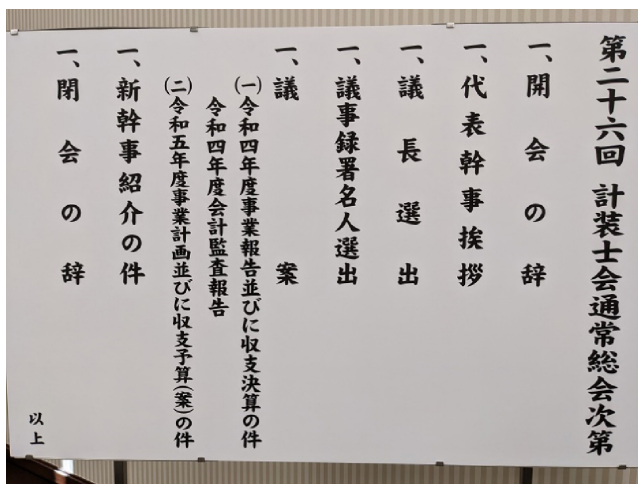


総会風景

第26回通常総会は、令和5年4月28日（金）東京・霞が関の霞ヶ関コモンゲート西館 霞山会館ビルにおいて開催されました。

新型コロナウイルス感染症防止の為、3密（密閉、密集、密接）を避け規模を縮小しての開催となりました。

以下の次第により議案の審議を行い、すべて承認されました。



通常総会次第

---

## 令和4年度 事業活動報告

令和4年度の計装士会事業活動としましては、昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大により、会員皆様の安全・安心を第一優先としまして、各地区での講演会・勉強会・見学会の活動は基本的に中止としましたが、安全を考慮したオンラインによる勉強会と小規模な見学会を1件、幹事各位のご協力により実施できたことは幸甚でした。

現在会員登録者は2,186名で、内58名の新規加入者を得ることが出来ました。

また、会活動の財政基盤の充実と活動の安定を図るため、各企業に会員の継続および新規加入をお願いしながら、会の趣旨をご理解頂いております。

以下に今期実施した事業内容をご報告致します。

### 主事業内容

1. 幹事会及び委員長会を開催しました。
  - ・幹事会4回の開催、委員長会6回の開催。
2. 会報「計装コミュニケーション」51号（2,600部）、52号（3,300部）の発行および一般社団法人日本計装工業会発行機関誌「計装技術」（各会員へ4冊/年）を配布しました。
3. 技術維持講習会場における入会勧誘および会員増強に向けたPR活動を行いました。
4. オンライン勉強会：配信 9月26日～30日（会報52号に掲載）
  - ・テーマ「光ファイバーと計装工事」
5. 見学会：12月6日（火）（会報52号に掲載）
  - ・見学施設：IPA独立行政法人 情報処理機構  
産業サイバーセキュリティセンター
  - ・見学内容：産業サイバー攻撃を想定した講義、実演
  - ・参加者：関東・甲信越地区 15名



# 令和4年度収支決算書

令和4年4月1日より令和5年3月31日まで

## I. 収入の部

(単位：円)

事業項目	予算額	決算額	差異 (△は収入超過)	備考
会費 (2,054名 × 3,000円)	6,162,000	6,525,000	△363,000	105.89%
賛助会費 (60,000円 × 63.0口)	3,780,000	3,780,000	0	100.00%
雑収入	0	45	△45	・3千円：2175名 ・賛助会費・3月まで (63口*60,000円)
会費令和4年度前受金 (令和5年度以降分)	0	171,000	△171,000	
前年度繰越金*2	10,000,027	10,000,027	0	
合計(A)	19,942,027	20,476,072	△534,045	102.7%

180,000

## II. 支出の部

(単位：円)

事業項目	予算額	決算額	差異 (△は支出超過)	備考
広報活動費	100,000	19,657	80,343	19.66%
会報・技術資料発行費	1,750,000	1,596,954	153,046	91.25%
交流・研修・見学会費	3,710,000	1,002,713	2,707,287	27.03%
ホームページ運用費	2,000,000	1,696,200	303,800	84.81%
会議費	419,000	328,800	90,200	78.47%
通常総会費	700,000	620,366	79,634	88.62%
一般管理費	6,866,000	5,051,019	1,814,981	73.57%
（人件費・交通費）	(4,550,000)	(4,243,585)		
（什器備品）	(1,716,000)	(502,508)		
（通信運搬費）	(400,000)	(239,381)		
（雑費）	(200,000)	(65,545)		
予備費	4,397,027		4,397,027	0.00%
合計(B)	19,942,027	10,315,709	9,626,318	51.7%
次期繰越収支差額(C)=(A)-(B)	0	10,160,363	△10,160,363	
支出合計	19,942,027	20,476,072	△534,045	

1,477,854

# 監査報告書

令和4年度予算にかかわる決算の結果について、監査を実施したところ収支決算書に示す通り正確であることを認めます。

令和5年 4月13日

監査 大刺学  
 〃 別府明敏

# 令和5年度 事業計画並びに収支予算（案）

## 1. 基本方針

- (1) 全国各地区における会活動の展開
- (2) 会員相互の技術交流と知識向上に向けた活動
- (3) 計装工事の技術伝承活動
- (4) 会報並びに各種技術情報の提供
- (5) 計装士の地位向上に向けた広報活動

## 2. 事業計画

- (1) 昨年度はコロナ禍において講演会・見学会・勉強会を全国7地区で開催することが困難な中、オンライン勉強会と1件の小規模ながら見学会が出来たことは幸いでした。  
今年度はコロナ前の水準を目指して、各地区と連携して前向きに取り組んでいきたい。
- (2) 一般社団法人日本計装工業会及び賛助会員企業との連携強化により計装技術の情報収集に努める。
- (3) 本会の趣旨活動内容を広報し、会員の増加と賛助会員の拡充を図り、財政基盤の確立に努める。
- (4) 会報「計装コミュニケーション」を年2回発行し、一般社団法人日本計装工業会発行「計装技術」（年4冊）とともに会員へ配布する。
- (5) 分かりやすい「計装士会ホームページ」を目指し、リニューアルを行いつつ、常に新しい技術・知識に関する情報提供を促進する。
- (6) 計装技術の重要性を一般社団法人日本計装工業会との連携により広報し、計装士の社会的地位向上に努める。  
計装士会は、これらの活動を通して「社会に応える計装士」の育成に向けて会員の技術・知識向上と人的交流を目指した活動を充実・発展させてまいります。

## 令和5年度 収支予算（案）

[収入の部]		(単位：円)	[支出の部]		(単位：円)
会費	6,450,000		広報活動費	100,000	
(2,150名×3,000円)			会報・資料発行費	1,500,000	
			交流・研修・見学会費	3,540,000	
			ホームページ運用費	220,000	
			会議費	420,000	
			通常総会費	1,800,000	
賛助会費 42社	3,660,000		一般管理費	6,830,000	
(61口×60,000円)			(人件費・通勤交通費)	(4,320,000)	
			(通信運搬費)	(400,000)	
			(什器備品及事務用品等)	(1,710,000)	
			(雑費)	(400,000)	
前年度繰越金	10,160,363		予備費	5,860,363	
合計	20,270,363		合計	20,270,363	



## 代 表 挨拶

計装士会代表幹事  
**大脇 剛**

ただ今ご紹介いただきました、代表幹事を務めさせて頂いております大脇です。

本日はご多忙中にも関わらず、また明日からはゴールデンウィークで大型連休に突入される人も多い中、皆様にはご出席頂きまして厚くお礼申し上げます。

皆様もご承知の通り、ここ3年間に亘り世界の生活環境を一変させてきた新型コロナですが、5月8日から新型コロナの感染症法上の位置付けが2類相当から5類に移行し、治療費等の自己負担が発生するようになりますが外出等の制限及び健康観察等の制約もなくなります。基本的な手洗い・うがいの実践と密集時のマスク着用を行うなどの個人対策は引き続き実施する必要があると思いますが、取りも直さず社会が活発に動き出すことは非常に喜ばしいことです。

当総会におきましても、一昨年・昨年とこの新型コロナの影響で規模を縮小して開催させて頂きました。

今年こそは例年に少しでも近づきたいと考えておりましたが、早期の会場手配などの制約より今回（2023年度）も同様に規模を縮小した形で開催させて頂きますことを、先ずはお詫び致しますとともに、ご了承頂きたいと思っております。

さて、2022年度はワクチン接種が進むことを期待し、諸行事の実施計画を立案し実施を試みましたが、年度初期の尚更の新型コロナ拡散状況から、各地方の諸行事の実施断念に至ったところであります。

その中で、見学会等のリアル実施が困難な状況が続くと見込まれることから、オンラインによる勉強会等を実施できる環境づくりを今年度の実施計画に織り込み、当会の発足時からのホームページ及びZoom等の通信環境是正、整備を行いました。

そうしたことから、2021年度内に実施しようと計画したオンライン講習会（光ファイバーと計装工事）を2022年度に実施できたことは、成果として皆様にご報告でき幸甚に思います。また、関東地区推進員の皆様の努力により、見学会（産業サイバーセキュリティ）を実施できたことにも感謝しております。

そうした中で、2023年度におきましては冒頭に申した通り、コロナ前と同様に社会活動が活性化することと思われまますので、リアルな勉強会及び職場見学会等を計画して、少しでも以前の状況に近づけて活発な活動を推進し、会員皆様の技術向上に寄与していきたいと思っております。

-----

国内におきましては少子化問題に起因し、どの産業分野におきましても人手不足が深刻になっており、計装士等の技術者の需要は増え、なお一層に活躍の場が広がっています。

また、昨今の様々な分野で技術進歩は目覚ましく発展しています。そのような状況下で計装士は元より、計装工業会殿において今後検討されます資格の取得推進政策と歩調を合わせ、計装士各員の地位向上を目指してまいります。

2023年度におきましては、ご提案の計画を推し進めることに注力し、一般社団法人日本計装工業会様及び賛助会員企業様との連携により、会活動の活性化・会員の技術向上に努めてまいりたいと思っておりますので、引き続きご支援、ご協力をお願い致します。

会員の皆様・賛助会員等関係者様、そして本日ご出席頂いた皆様のご健勝を祈念するとともに、2023年度は新型コロナ以前の社会活動の下で、諸活動が滞りなく実施できることを願い、私の挨拶と致します。



# Enclosure

ジョンソンコントロールズ株式会社  
営業推進統括本部設計統括部  
井村 雅英

## 1. はじめに

読者の皆さん、「エンクロージャ (Enclosure)」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか。ある自己紹介の時に、「私の趣味は、エンクロージャを自作することです。」と言っても、ほとんどの方が首をかしげたことを思い出します。

これからご紹介する「エンクロージャ」とは、スピーカユニットを収納し、ユニット本来の性能を発揮させるための箱のこと言います。

## 2. エンクロージャの役割

ほとんどの方は「スピーカ」というと、四角い形をした音の出る箱というイメージがあるのではないのでしょうか。

もし、スピーカユニットをこの箱に装着せずに単独で音に変換しようとする、振動板の前面から出る音と後面から出る音が干渉し、思ったより小さなしかも低音が含まれない音となってしまう、いわゆる良い音を再生することができません。

そこで、後ろから出る音を箱の中に閉じ込めることで、前から出る音だけがリスナーの耳に届くようにするわけです。

## 3. エンクロージャの種類

では、どんな箱でもよいのかといいますとそうではありません。実は期待するスピーカユニットの性能を十分に発揮できるように綿密な設計が必要となります。今回は設計方法などの詳細は割愛させていただきたいと思いますが、エンクロージャの主な種類と特徴をいくつか紹介させていただきます。

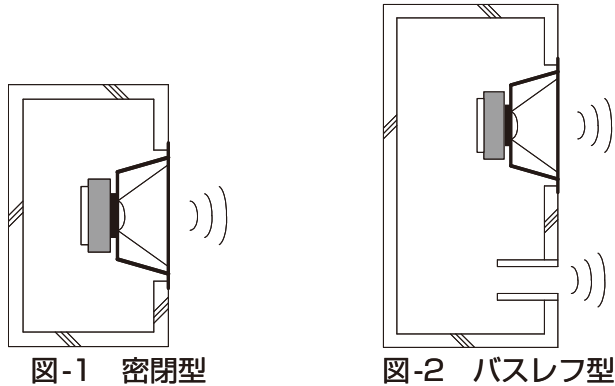
### ・密閉型

図-1のようにスピーカユニットの後側から出る音を箱で完全に封じ込めるタイプのエンクロージャです。単純な構造で大きな容積になるほどスピーカユニットの本来の音質を再現できるといわれています。

### ・バスレフ型

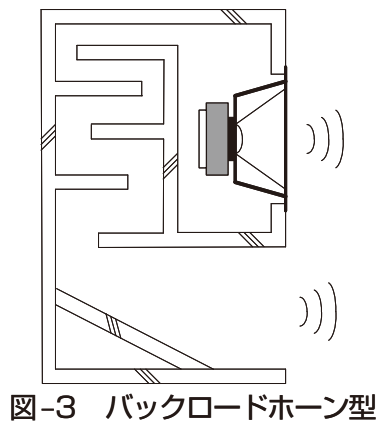
図-2のように密閉型の箱の前面に計算されたサイズのダクトを取り付けたエンクロージャです。これは、エンクロージャ内部の容積とダクトの空気抵抗によって、特定範囲

の低音がダクトを通して前面に放出されるようになりますので、効果的に低音部分が増強される効果があります。小口径のスピーカユニットの低音を再生しにくい欠点を補う場合に採用されます。



#### ・バックロードホーン型

図-3のようにスピーカ背面の音を徐々に断面積が広がる音道を通して前面に放出させる構造で、効率よく低音を増強するエンクロージャです。音道がラッパ（ホーン）の形状であるために、特徴的な音質となります。



#### 4. オーディオネットワーク

次にスピーカの構成についてご紹介します。

スピーカユニットの種類には、低音から高音までを一つのユニットで再生するタイプの「フルレンジ方式」とそれぞれの音域に特化したユニットを複数組み合わせた「マルチスピーカ方式」があります。聞いたことがあるとは思いますが、低音域用を「ウーハー」、中音域用を「スクーカ」、高音域用を「ツイッター」と呼んでいます。

このマルチスピーカ方式では、それぞれのスピーカユニットに特定の周波数に限定して信号を分配するための電気回路が必要となり、エンクロージャ内部にコンデンサやコイ

ルを組み合わせたフィルタ回路を組み込む必要があります。

## 5. 趣味としてのエンクロージャ作り

10年ほど前に少々時間や金銭的に余裕ができたせいかなエンクロージャ作りを再開することができました。

実際のエンクロージャ作りは、設計、材料の調達、加工（ほとんど手作業）、そして組み立てを行いながら、並行してオーディオネットワークの設計、製作、最後に塗装仕上げなど、比較的広範囲で製作期間も場合によっては半年ほどの作業となります。

そして、何とんでも一番の楽しみは初めて音を再生する瞬間なのですが、期待通りの音が出てくれると苦勞もひとしおです。

## 6. 最後に

いくつか製作したスピーカの紹介をさせていただきます。

1. 少々大きめ（床置き）のスピーカセットですが、非常に気に入っております。中段のホーンは集積材を張り合わせた上に削り出した力作です！
2. 卓上タイプスピーカセットです。7枚のフィンで構成された音響レンズで高音域到達範囲を左右に広げる効果があります。
3. 自分用TVの外付けスピーカセットで、左右の低・中音用のスピーカと左右共通の低音スピーカを組み合わせた2.1chタイプです。  
なお、左上のスピーカは、6.5cmユニットでバックロードホーンを作ってみました。
4. JBL Paragon 実物は横幅が2mを超えますが、1/5に縮小しました。スマートホンをつないで再生できるようにデジタルアンプを内蔵しています。



写真1



写真2

写真1：ALTEC A700 1/2スケールモデル

16cmウーハー（フロントホーン・バスレフ型）+ ウッドホーン + 2.5cmホーンツイーター

写真2：10cm（フロントホーン・バスレフ型）+ オーディオレンズ付き4cmドームツイーター



写真3

写真3：2.1ch 10cm、6.5cmフルレンジ(ダブルバスレフ型) + 2.5cmドームツイーター、20cm密閉型ウーハー、写真内左上：6.5cmフルレンジ(バックロードホーン型)



写真4

写真4：JBL Paragon 1/5スケールモデル  
5cmウーハー(内蔵) + 2.5cmスコーク + 2cmドームツイーター(内蔵)

【執筆者紹介】

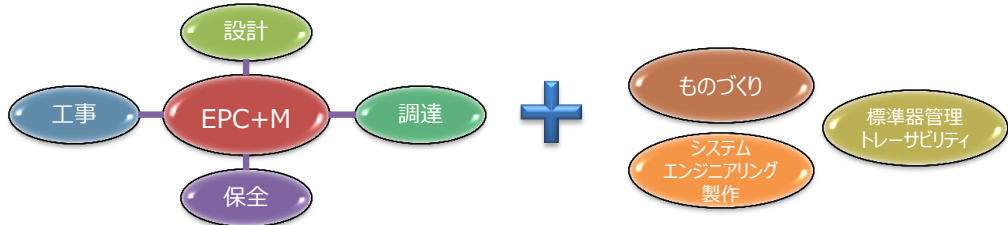
井村 雅英 (いむら まさひで)  
ジョンソンコントロールズ株式会社  
営業推進統括本部設計統括部



# “旭興産グループは保全のパートナー”

## ◆ 生産設備のライフサイクルを見据えた質の高いトータルサービスを提供 ◆

様々な生産現場で豊富な実績を持つ計装工事、どのメーカーの機器でも対応できるフレキシビリティを活かしたメンテナンスをはじめ、設計、調達、建設、メンテナンス、ものづくりに加え、ICT、IoT、AI、カメラなどの最先端技術を用いた監視/制御、人のモニタリング、セキュリティ、画像解析等、あらゆるシステムソリューションを提供しています。



## ◆ タブレットを活用した業務改善・支援ソリューション ◆

### 日常業務 効率化

- 各種資料の電子化により携帯性向上
- ヒューマンエラーを抑制し、悪環境でも利用可能な巡回点検
- 転記が必要なく、作業時入力から報告書を自動作成
- 複数の利用者に対応する簡便な作業進捗管理

### リソース管理

- データの2次活用を実現するExcelデータ連携
- 試験器のトレーサビリティを実現する標準器管理
- 作業者の正当性、資格、教育履歴・計画を管理

### 保全費 最適運用

- 過去の作業履歴から最適な点検周期の提案を支援

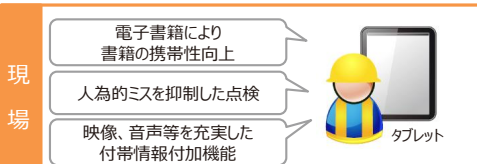
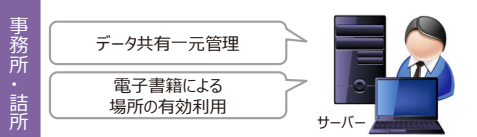
### ニーズ対応

- お客様のニーズにカスタマイズにて全て対応
- 面倒な初期データの簡単登録、さらに初期データ登録を支援
- 他社システムとのデータ連携
- ウェアラブルデバイスなど最先端技術への対応

### プロによる保全サービス

- システムを活用した保全業務を提供

### 基本構成



オフライン運用可能であり、ネットワーク環境構築が不要

### 機能



- ストレスフリーな操作性を生み出すネイティブアプリケーション
- コンサルティング、提案からシステム構築、設置、アフターメンテナンスまでワンストップで対応致します

 旭国際テクネイオン株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-1-14 TEL:03-5360-7740

<http://www.asahi-kokusai-techneion.co.jp/>



中部電力グループ

# キラリの技、 ホットな心

 **中部プラントサービス**

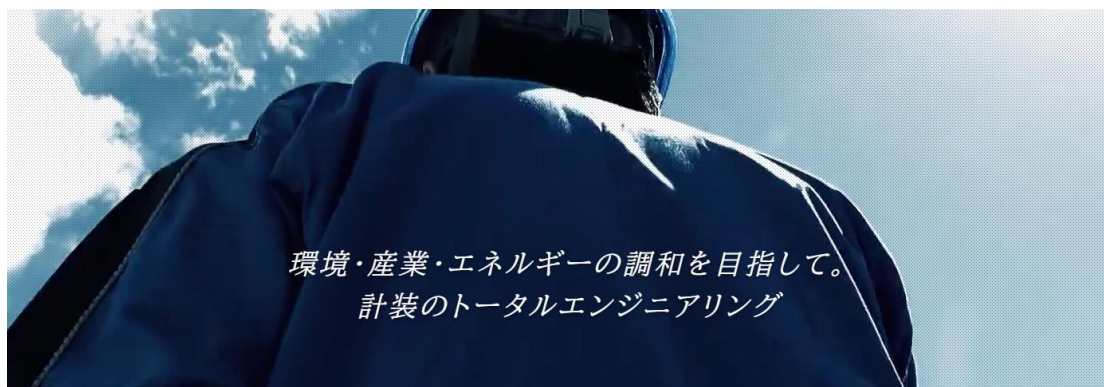
各種プラント設備の建設・保守・運転をする会社

つくる・たもつ・ささえる

中部プラントサービス

検索





環境・産業・エネルギーの調和を目指して。  
計装のトータルエンジニアリング

## 全員参加で課題に取り組む

三興グループは、職場ごとに、社員がフラットな関係でチームで課題に取り組む「小集団活動」を40年にわたり実践しています。「品質」「環境」「安全」方針に基づき、各々が活発に意見を交換しながら日常業務目線で問題点を抽出し、課題とその目標を定めるボトムアップの取組みは、「品質」「環境」「安全」に対する意欲を高めるだけでなく、組織のレベルアップと個人の能力開発につながっています。

## 2023年 安全週間標語

優秀賞 「危ないよ」一声かけて防げる事故 みんなで声掛け安全職場

1席 安全は止める勇気と待つ余裕 慌てず 焦らず 安全確認

1席 ヒヤリハットみんなで共有 意識を高めてゼロ災害！

2席 小さな危険を摘み取って みんなで目指そうゼロ災職場

2席 気を付けて 潜む危険に役立つ保護具 しっかり装着 安全職場

2席 無くそう危険 守ろう安全 みんなで築こうゼロ災職場

㈱三興 本社 東京都品川区東大井2-27-10

TEL 03-3761-2111

〔三興グループ〕

㈱三興

三興コントロール㈱

三興工事㈱

三興コンピューターソフトウェア㈱

三興マテリアルサプライ㈱

㈱アシスティル



---

## 計装士会 会報52号の掲載内容誤表記について

前回発行の会報52号に掲載いたしました、R4年度「関東甲信越地区勉強会報告」におきまして当日の講師を務められた槇野泰 講師のお名前の表記に誤りがありました。

「誤」牧野 泰 ⇒ 「正」槇野 泰

ここに謹んで訂正致しますとともに、御本人ならびに関係者の方々へご迷惑をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。

今後このようなことが再発しないよう原稿のチェックを万全に努めて参りますので引き続き宜しくお願ひ申し上げます。

計装士会事務局  
計装士会広報委員会  
一同

## 令和5年度 計装士会賛助会員会社名簿

令和5年4月1日現在  
(五十音順) 42社

アイ・ビー・テクノス (株)	住友電設 (株)
旭国際テクネイオン (株)	第一工業 (株)
アズビル (株) ビルシステムカンパニー	ダイダン (株)
(株) オーテック	太平電業 (株)
(株) 川瀬電気工業所	高砂熱学工業 (株)
(株) 関電工	(株) 中部プラントサービス
(株) 木内計測	千代田エクスワンエンジニアリング (株)
(株) 九電工	(株) トーエネック
(株) きんでん	(株) 東京エネシス
栗原工業 (株)	東光電気工事 (株)
(株) クリハラント	東テク (株)
向陽電気工業 (株)	東邦電気工業 (株)
三機工業 (株)	東洋熱工業 (株)
(株) 三興	日鉄テックスエンジ (株)
(株) サンテック	日本電技 (株)
J-POWERジェネレーションサービス (株)	日本電設工業 (株)
四国計測工業 (株)	(株) 日立プラントサービス
昭和アステック (株)	富士古河E&C (株)
(株) 昭和電業社	豊楽興産 (株)
ジョンソンコントロールズ (株)	(株) ユアテック
須賀工業 (株)	横河ソリューションサービス (株)

# 令和5年度 計装士会幹事名簿

令和5年7月1日現在

## (運営幹事)

代表幹事	大脇 剛	(株)三興 SKGRコーポレート本部 技術企画・教育センター センター長
副代表幹事	笹生 健司	(株)きんでん 情報通信本部 情報通信技術部 技監
企画・研修委員(長)	島崎 真	ダイダン(株) 東京本社 設計部 設計第一課 担当部長
企画・研修委員	稲生 充	太平電業(株) 工事本部 火力管理部 電装課 課長
企画・研修委員	吉川 弘信	高砂熱学工業(株) 東京本店 計装技術部 設計課 担当課長
企画・研修委員	吉野 賢治	東光電気工事(株) 首都圏東支社 内線第二部 内線第一課 課長
広報委員(長)	阿部 達也	ジョンソンコントロールズ(株) 購買部 サブコントラクトGr パネル調達マネージャー
広報委員	金子 啓市	(株)関電工 営業統轄本部 プラント設備部 副長
広報委員(兼務HP)	藤森 一	アズビル(株)ビルシステムカンパニー 技術本部技術企画部 担当部長
ホームページ委員(長)	藤森 一	アズビル(株)ビルシステムカンパニー 技術本部技術企画部 担当部長
会計・庶務	日下 滋	千代田エクスワンエンジニアリング(株) 第1事業本部 特命担当
監査	別府 明敏	旭国際テクネイオン(株) 中国事業所 技術本部
監査	大淵 学	(株)オーテック 環境システム事業部 技術統括部 参事役

## (地区幹事)

東北・北海道地区代表	鈴木 和彦	(株)ユアテック 営業本部 電気設備部 課長兼 プラントグループリーダー
同上業務連絡先	松木 哲郎	(株)ユアテック 営業本部 電気設備部 プラントグループ 副長
東北・北海道地区	川崎 久	三機工業(株) 東北支店 建築設備部 部長
中部・北陸地区代表	森本 将之	(株)トーエネック 営業本部 営業部 技術提案グループ 課長
中部・北陸地区	本間 隆児	(株)中部プラントサービス 工事本部 工事総括部マネージャー
中部・北陸地区	生川 斉	アズビル(株)中部支社 サービス本部 中部サービス1部
近畿地区代表	石山 輝英	(株)きんでん 技術本部 プラント工事部 課長
近畿地区	大久保精之	住友電設(株) 技術本部 技術開発室 主席
近畿地区	秋月 成夫	ダイダン(株) 大阪本社 技術管理部 品質課 参与
中国地区代表	本坊 和樹	(株)中電工 技術企画部 工場プロジェクト担当課長
同上業務連絡先	土井長昭義	(株)中電工 技術企画部 工場工事担当専任課長
中国地区	濱本 和信	中電プラント(株) 火力部 課長(火力担当)
中国地区	副島 勉	高砂熱学工業(株) 技術部技術生産課 課長
中国地区	末田 仁彦	アズビル(株)ビルシステムカンパニー 中四国支店技術部1グループ マネージャー
四国地区代表	松本 和幸	四国計測工業(株) エネルギー・環境事業本部 電気計装部 管理課 管理課長
四国地区	谷本 信人	(株)四電工 システム技術部 副部長
九州・沖縄地区代表	今吉 俊博	(株)九電工 技術本部 電気技術部 プラントグループ副長
九州・沖縄地区	松原 正義	高砂熱学工業(株) 九州支店 営業部 設計課 課長
九州・沖縄地区	山路 鉄次	アズビル(株) 九州支店 サービス本部 九州サービス部 安全マイスター



# 入会資格と入会・退会等手続きについて

計装士会 事務局

## 1. 入会資格

計装士会会則の第5条（抜粋）より本会会員は次の者とします。

- (1) 正会員 一般社団法人日本計装工業会が実施する計装士資格試験に合格し、1級・2級計装士の資格を有する者
- (2) 賛助会員 本会の目的に賛同し、本会の事業を賛助する個人または法人

## 2. 年会費・入会手続き

- (1) 年会費 ・正会員：3,000円/年（入会金なし）、振込手数料は会員負担  
・賛助会員：会費は別規定（確認は事務局まで）
- (2) 入会 ・正会員：当会指定用紙「入会申込み書・住所等変更届はがき」（用紙は事務局まで）  
・賛助会員：別途指定用紙による申込み（用紙は事務局まで）
- (3) 会費納入 ・正会員：「払込取扱票」（郵便局）による（用紙は事務局まで）  
口座番号 00150-3-356308  
加入者名 計装士会  
・賛助会員：別途銀行指定用紙による（用紙は事務局まで）

## 3. 住所変更等手続き

当会指定はがき：正会員は原則として「入会申込み書・住所等変更届はがき」に必要事項を記入し提出のこと。場合によりFAXでも可。

## 4. 退会手続き

当会を退会希望する場合は、必ず退会の届出・連絡が必要となります。下記の要領により事務局まで退会届を提出して下さい。

### (1) 退会届提出要領

- ① 当会指定の「入会申込み書・住所等変更届はがき」の右上空欄に退会届と明記して提出する。
- ② 当会指定の「届はがき」が手元にない場合は、必ず事務局までFAXか電話で退会の連絡を願います。
- ③ 会員本人が死亡などの場合は、事務局が連絡を受けた時点において受付・処理します。

### (2) 年会費納入義務

退会の場合は、必ず退会当該年度までの年会費納入を義務とし、当該年度末（3月31日）退会を原則とします。ただし、会員本人が死亡などの場合は、事務局が連絡を受けた時点までの納入会費で終了とします。

## 計装士会ホームページのお知らせ

付記：ホームページパスワード変更

追加：正会員のEメールアドレス登録について

計装士会 ホームページ分科会  
事務局

計装士会ホームページURLは下記のとおりです。

URL <http://www.keisoshikai.gr.jp/>

会員の皆様へのより早い情報の提供と対応、更に内容の充実を図って参りますので、多くの皆様方の活用とご意見をお聞かせ下さるようお願いいたします。

- 内 容：1. 計装士会事業活動状況・報告  
2. 会員コミュニケーション  
3. 研修会・見学会・勉強会の技術情報、その他  
4. 会員事務手続きおよび問合せ  
5. 各種案内（研修会・見学会・勉強会参加案内、その他）

お願い：計装士会は一般社団法人日本計装工業会とは別団体、別組織の運営・活動となっております。各種の問合せは等は間違いのないようご注意ください。

ホームページ技術資料公開のパスワード変更（会員専用）

新パスワード：keisoshikai23

実 施 日：令和5年4月より実施

### <お願い>

平成22年10月より、会員の皆さんへ各種情報・お知らせ等を発信できるようになりました。下記のいずれかの方法で、皆さんのメールアドレスをお知らせ下さい。

- ①当会より定期的に送付される「払込取扱票」の通信欄のE-mail：の項に記入の上、会費振込時にお知らせ下さい。
- ②または、FAXにてお知らせください。（FAX：03-5846-9166）

## 【投稿募集】皆さんの投稿でより充実した会報に！

広報委員会

過去の通常総会において承認されました本年度の活動方針に「会報並びに各種技術情報の提供」が盛り込まれています。会員のための会報を提供するためには、より多くの会員の皆さんに参画していただき、連携して会報を作っていくことが重要です。

つきましては、下記のテーマで会員に役立つと思われる内容の記事（関連の写真があれば添付）を投稿いただきますようお願い申し上げます。

### <テーマ>

1. 技術情報  
日常業務の中で体験，調査・検討された作業改善，トラブル事例とその応用・改善等（現場作業での事例を特に歓迎します）
2. 身近な情報  
珍しい話題，行事
3. 海外での特異な体験
4. その他  
多くの会員に役立ち，参考になるとと思われる情報
5. デジカメデータまたは写真（JPG.）  
撮影年月日，撮影対象，写真提供者名を明記  
記事または表紙写真を採用の場合には，薄謝を進呈します。

### <原稿送付先>

〒101-0031  
東京都千代田区東神田2丁目4-5 東神田堀商ビル 4階  
一般社団法人日本計装工業会内  
計装士会  
Tel. 03-5846-9167 Fax. 03-5846-9166

なお、E-mailで送付される場合には、計装士会事務局まで、上記のTelにてご相談ください。当会メールアドレスをお知らせします。

計装士会事務局御中 変更届 (下記の該当□にレ点を付けてください)

住所変更届    その他変更届    退会届

計装士登録番号 \_\_\_\_\_ --- \_\_\_\_\_

御<sup>ふ</sup>氏<sup>り</sup>名<sup>がな</sup> \_\_\_\_\_

御住所 〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

連絡先電話番号 \_\_\_\_\_

E-mail : \_\_\_\_\_

会社名 \_\_\_\_\_

部署名 \_\_\_\_\_

御住所 〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

会社連絡先電話 \_\_\_\_\_

通信欄 \_\_\_\_\_

---

---

## 広報委員会

委員長	阿部	達也	ジョンソンコントロールズ(株)
委員	金子	啓市	(株)関電工
委員	藤森	一	アズビル(株)

---

事務局	片山	洋志	計装士会	事務局
-----	----	----	------	-----



ぼくは、  
計装士会  
マスコットの  
インスです。  
大きな耳で  
情報を集め、  
みなさんに技術・  
知識に関する情報を  
提供できたらと  
頑張っています。



## 計装士会の活動

- 技術向上へ向けた研修会・見学会・懇話会を全国で開催
- 会報・ホームページによる各種技術資料・情報を提供
- 社会的地位向上への活動

## 計装士会

〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目4-5 東神田堀商ビル4階  
一般社団法人日本計装工業会内  
Tel. 03-5846-9167 Fax. 03-5846-9166  
URL <http://www.keisoshikai.gr.jp/>